

平成27年度事業報告

1 法人として実施したこと

① 生活介護棟

建設開始時期が当初の予定より遅れたが、11月末に完成、12月より利用を開始した。

② 社会福祉法人化に向けて準備を進め、3月に申請を行った。

③ 新事業（日中一時支援）開始の準備を進めた。

④ グループホームの移転に向けて、地元説明会を行った。

2 通常の事業の報告

① 就労継続B型

ア) 調理室

6月、12月、1月に新規利用者が1名ずつ入り、男性8名、女性5名での作業となった。生産量が、大幅に増えたが利用者同士が協力しあい、繁忙期を乗り越えることができた。

イ) 袋室

新規利用者が4月に2名、5月に2名、3月に1名加わり、15名となった。個別に支援を行い、一人ひとりがより多くの作業種に携わることができるようになった。また、検品マニュアルの作成、特別仕様の包材見本表を作成し品質管理に努めた。

ウ) 2グループ

平成27年度は12名でスタートし、1月に2名を迎え14名となった。クッキー詰め作業を中心に行っているが、新しい試みとして、光風台地区へのお菓子チラシのポスティングを作業種に加えた。また、年度後半には受注作業（ワッペン）に取り組むようになった。作業の細分化をし、利用者それぞれに適した作業を提供することができた。作業場所も広くなり有効に活用している。

就労継続B型全体の平均の実利用は1日当たり33.3人であった。

② 生活介護

平成27年度は男性5名、女性4名の計9名の利用者でスタートした。平成28年3月に男性1名が高齢者施設へ入所された。また、女性1名が体調不良のため12月より利用を見合わせている。12月に新しく生活介護棟が完成し、より利用者にあったペースで活動を提供できるようになった。活動内容は散歩、体操等の体を動かす活動と、お菓子袋のシール貼り、リサイクル作業（ペットボトル・シュレッダー）、5月から新たに受注作業（ワッペン貼り、袋詰め等）を行った。お楽しみ会は主に調理とレクリエーションを行い、利用者の楽しみ、励みとなった。1日外出では、東京湾シンフォニークルーズへ出かけた。

年間の実利用は1日当たり7.2人であった。

⑤ ケアホームどんぐり

今年度は5名の入居者で推移した。1名が高齢者施設へ入所し、1名の入所があった。また、1名が退所され家庭に戻られた。

⑥ 相談支援

サービスの更新や新たなサービスを希望された時、モニタリングを行いサービス等利用計画書の作成を行った。27年度は計画書の作成数が、のべ62件、モニタリング実施数が、のべ52件であった。(シーモック利用者・新規利用者・法人外からの依頼)